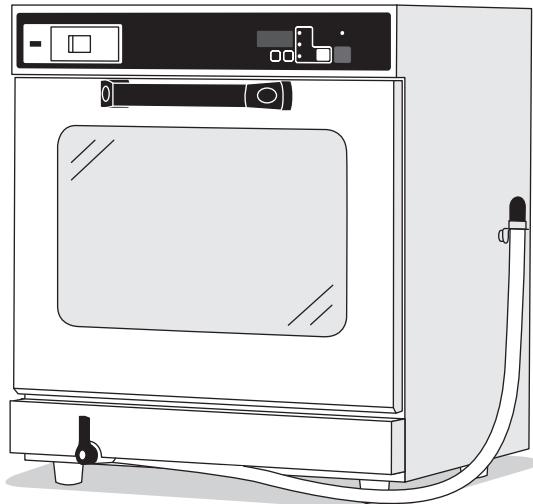


低温調理機

STC43

目 次

安全上のご注意	1
各部の名称	3
操作部の説明	4
付属品	5
設置方法	5
使用方法	6
お手入れ方法	11
困ったときは	14
製品仕様	15
アフターサービスについて	16
製品保証規定	



安全上のご注意

- ◎ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ◎ ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。
- ◎ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。

— 安全のために必ずお守りください —

■ 誤った使いかたをしたときに生じる、危険や損害の程度を区分して説明しています。

 警告	死亡または重傷を負う恐れがある内容です。
 注意	軽傷を負うことや財産の損害が発生する恐れがある内容です。

■ お守りいただく内容の種類を次の区分で説明しています。

 ○	製品の取り扱いにおいて、してはいけない内容です。
 !	製品の取り扱いにおいて、実行しなければならない内容です。

設置するとき

 警告	 ○	●右記のもの近くには絶対に設置をしない 可燃物 可燃性ガス 揮発性の高いもの ・発火の恐れがあります。
		●変換プラグのアース線は右記のものには接続しない ガス管 アンテナ端子 ・感電の恐れがあります。 水道管 電話端子
		●「交流 100 ボルト」以外の電圧で使用しない ・発火や感電の恐れがあります。
		●延長ケーブルやタコ足配線、他の器具との分岐コンセントは使用しない ・分岐コンセント部分や電線が異常過熱し、火災の原因になります。
	 !	●電源コードを加工したり、束ねたり、上に物を置いたり、引っ張ったりしない ・発火や感電の恐れがあります。
		●電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む ・発火や感電の恐れがあります。
		●屋内の雨水のかからない場所に設置する ・製品内部に水が入り、感電の恐れがあります。
		●湿気の少ない場所に設置する ・湿気が多いと電気配線・コードが劣化して、感電の恐れがあります。
 注意	 ○	●本体を積み重ねない ・転倒してケガをする恐れがあります。
	 !	●「水平で丈夫な台」の上に置く ・落下してケガをする恐れがあります。

使用するとき

⚠ 警告		<ul style="list-style-type: none">● ぬれた手で電源スイッチを操作しない<ul style="list-style-type: none">・皮膚がぬれていると電気を通しやすくなり、感電の恐れがあります。
		<ul style="list-style-type: none">● 振発性・引火性のあるものは庫内に入れない<ul style="list-style-type: none">・爆発や火災の原因になります。
⚠ 注意		<ul style="list-style-type: none">● 本体の上に物を乗せたり、寄り掛かったりしない<ul style="list-style-type: none">・転倒事故でケガをしたり、製品故障の原因になります。
		<ul style="list-style-type: none">● 水以外の液体は入れない<ul style="list-style-type: none">・故障の原因になります。
		<ul style="list-style-type: none">● 使用中は傾けたり、動かしたり、持ち運んだりしない<ul style="list-style-type: none">・熱湯がこぼれて、ヤケドの恐れがあります。
		<ul style="list-style-type: none">● 定期的にお手入れをする<ul style="list-style-type: none">・故障、異臭の原因になります。

お手入れのとき・移動するとき

⚠ 警告		<ul style="list-style-type: none">● 操作部には、水や洗剤をかけない<ul style="list-style-type: none">・感電の恐れがあります。
		<ul style="list-style-type: none">● 本体に水を掛けたり、水につけたり、水洗いをしない<ul style="list-style-type: none">・感電や故障の恐れがあります。
		<ul style="list-style-type: none">● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない<ul style="list-style-type: none">・皮膚がぬれていると電気を通しやすくなり、感電の恐れがあります。
		<ul style="list-style-type: none">● 電源コードを引っ張って電源プラグを抜かない<ul style="list-style-type: none">・電源コードが破損して、感電や発火の恐れがあります。
		<ul style="list-style-type: none">● お手入れや移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く<ul style="list-style-type: none">・機器に電気が供給されているため、感電の恐れがあります。
		<ul style="list-style-type: none">● 万一、本体を落としたり破損した場合には、ただちに使用を停止して点検を受ける<ul style="list-style-type: none">・内部の電気配線が破損している場合など、感電や発火の恐れがあります。
⚠ 注意		<ul style="list-style-type: none">● 機体に水や食材を入れたまま本体を移動しない<ul style="list-style-type: none">・熱湯がこぼれて、ヤケドの恐れがあります。

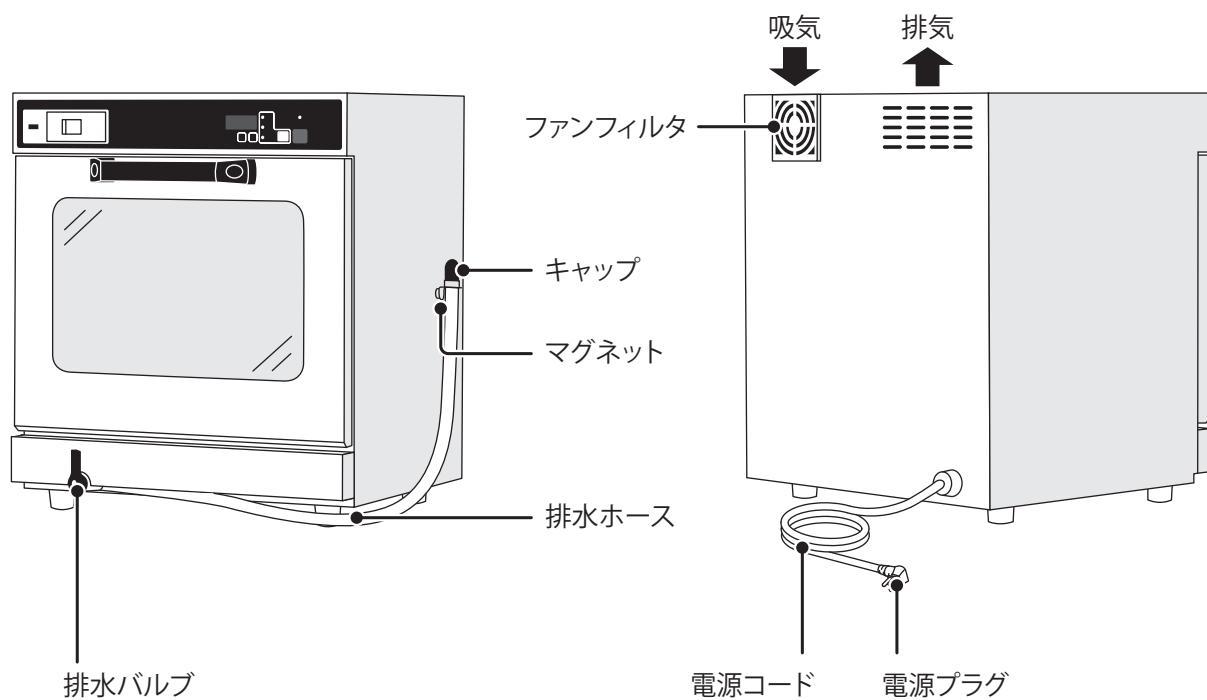
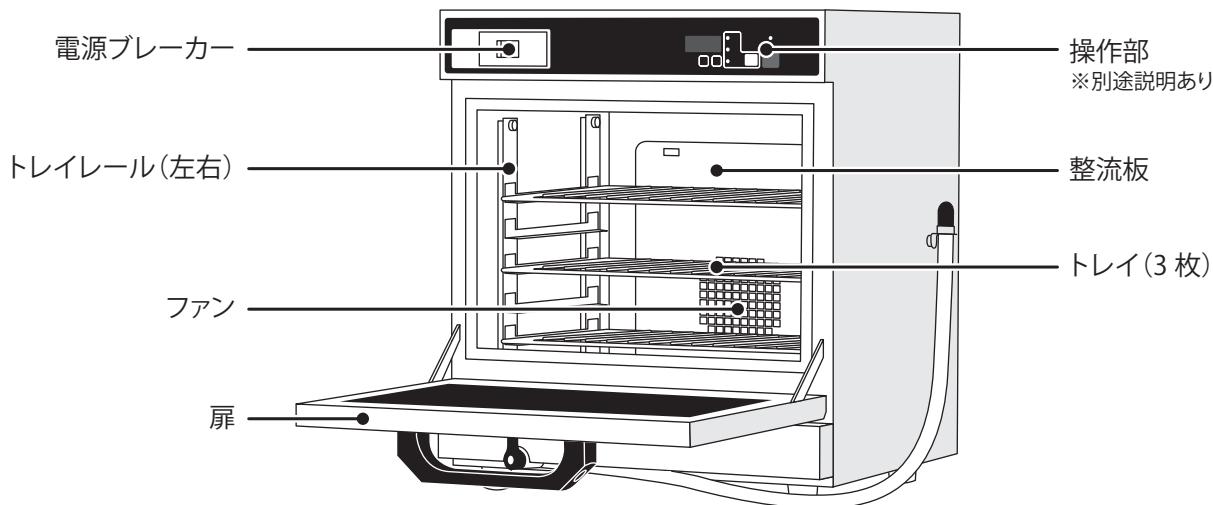
正常に作動しないとき

⚠ 警告		<ul style="list-style-type: none">● 当社指定の修理業者以外は、絶対に分解したり修理は行わない<ul style="list-style-type: none">・発火したり、異常動作してケガの恐れがあります。
-------------	---	--

ご使用にならないとき

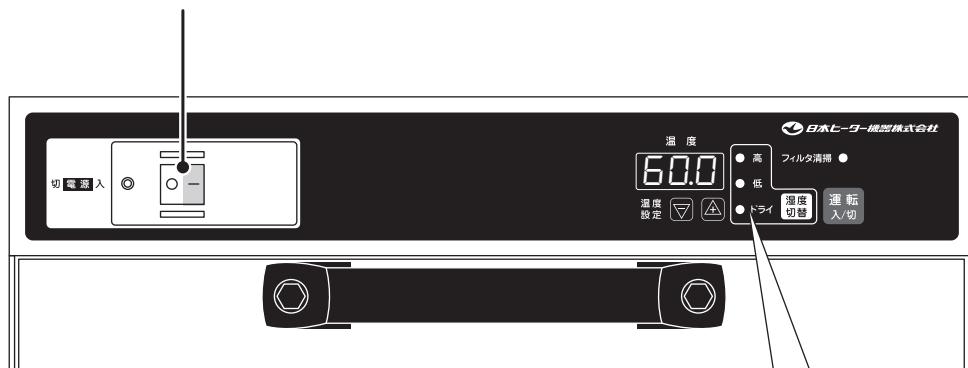
⚠ 注意		<ul style="list-style-type: none">● 湿気の少ないところに保管する<ul style="list-style-type: none">・電気配線・コードが劣化して、再度ご使用される際に感電の恐れがあります。
-------------	---	--

各部の名称

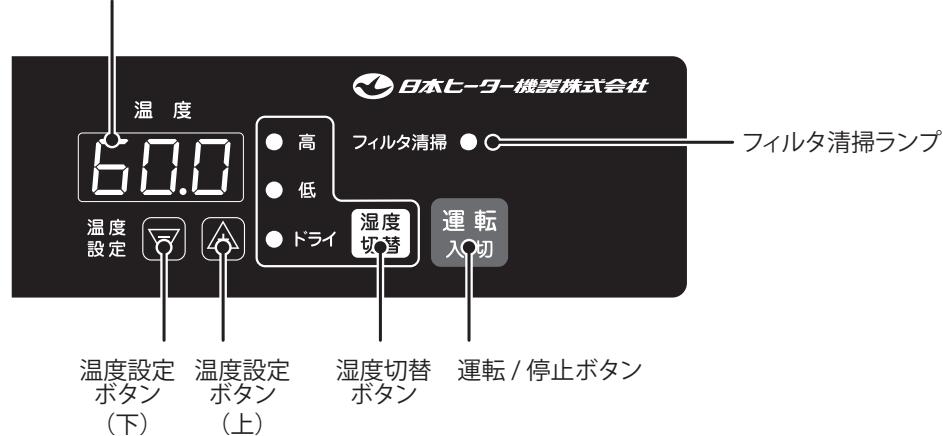


操作部の説明

電源ブレーカー

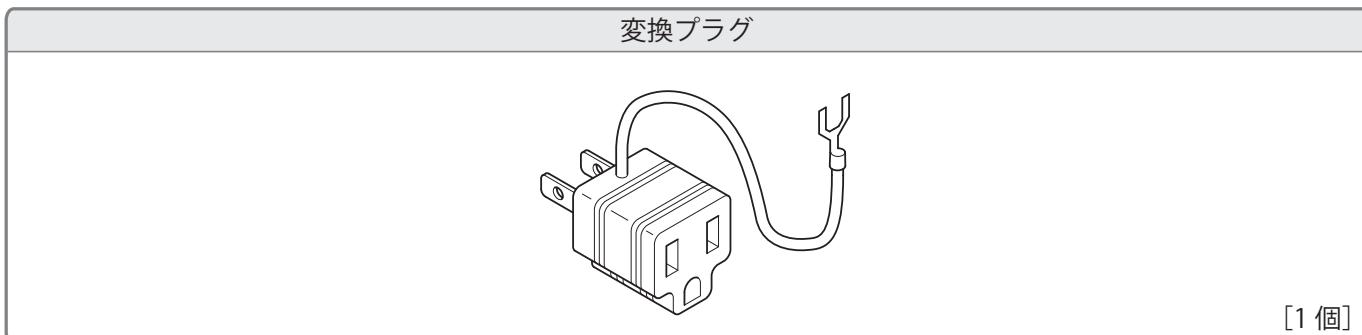


表示部



付属品

■次の付属品が揃っていることを確認してください



設置方法

■「安全上のご注意」を必ず守っていただき、正しく設置してください

1 梱包箱から製品と付属品を取り出す

- 付属品を確認します。

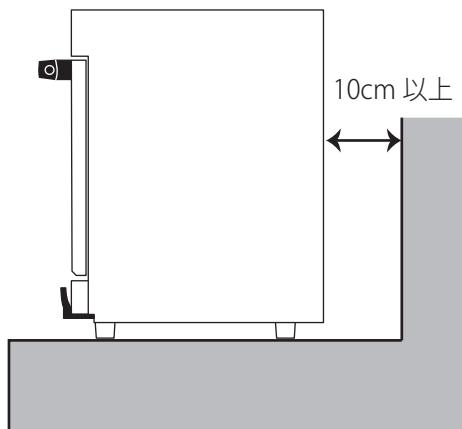
2 丈夫な台の上に水平に設置する

- 満タン時：約 30kg になります。

注意

- ・指などを挟まないようにしてください。
- ・本体背面は壁から 10cm 以上離してください。

次の場所には設置しないでください。
・熱の影響を受ける場所
(オーブン、蒸し器、冷凍ケース等の近くは避ける)

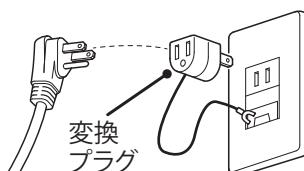


3 電源プラグをコンセントに差し込む

注意

- 他の製品とコンセントを共用する場合はコンセントの容量を確認してください。消費電力オーバーにより、ブレーカーが作動する可能性があります。
- 電源プラグは、アース付きの 3P タイプです。コンセントが 3P 対応でない場合、付属の変換プラグをご使用ください。
- 電源コードは、踏んだり・引っ掛けたりしないように注意してください。

コンセントが 3P 対応でない場合



変換プラグのアース線は、コンセントのアース端子に必ず接続してください。

使用方法

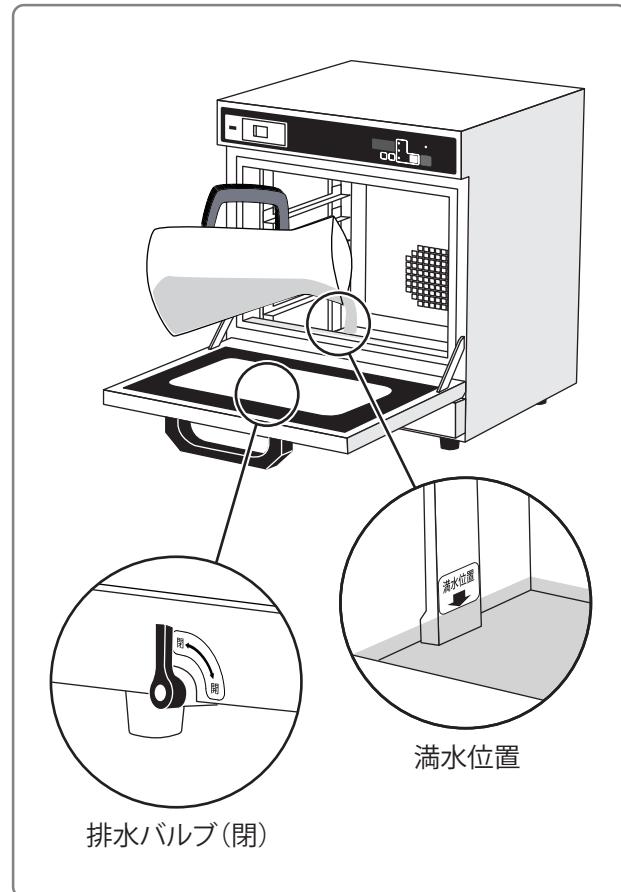
■「安全上のご注意」を必ず守っていただき、正しく使用してください。

1 水を入れる

- 排水バルブが閉まっていることを確認ください。
- 水を1.5L用意してください。
- 満水位置を超えないように給水してください。

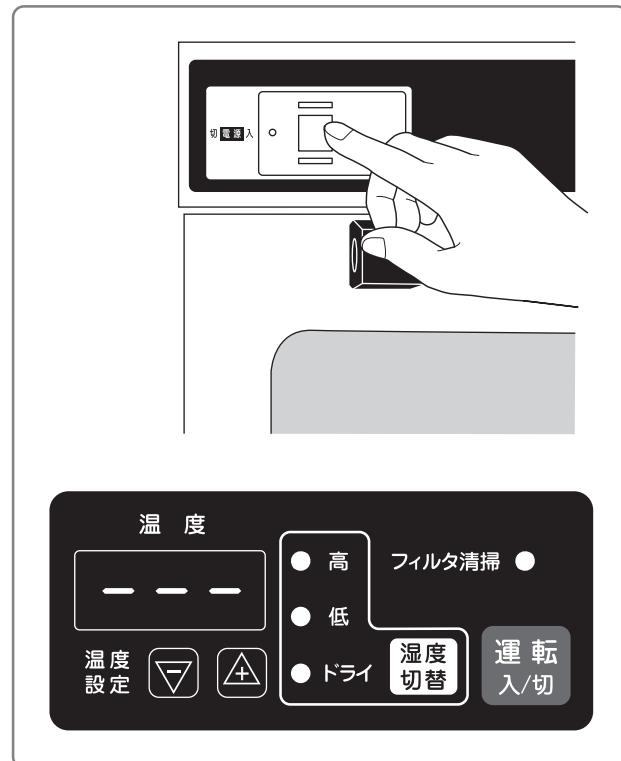
注意

- ・ドライモードでご使用の場合、水は必要ありません。
- ・水道水以外の水は入れないでください。



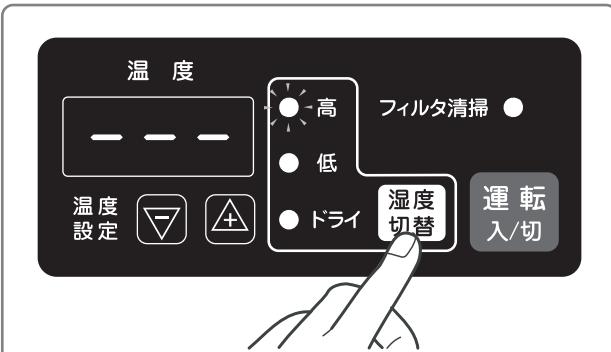
2 電源ブレーカーを入れる

- 庫内照明が点灯します。
- ファンが回転します。
- 表示部に「---」が点滅表示されます。



3 「湿度切替ボタン」を押して運転モードを選択する

- 運転モードは湿度別に「高」「低」「ドライ」の3モードあります。



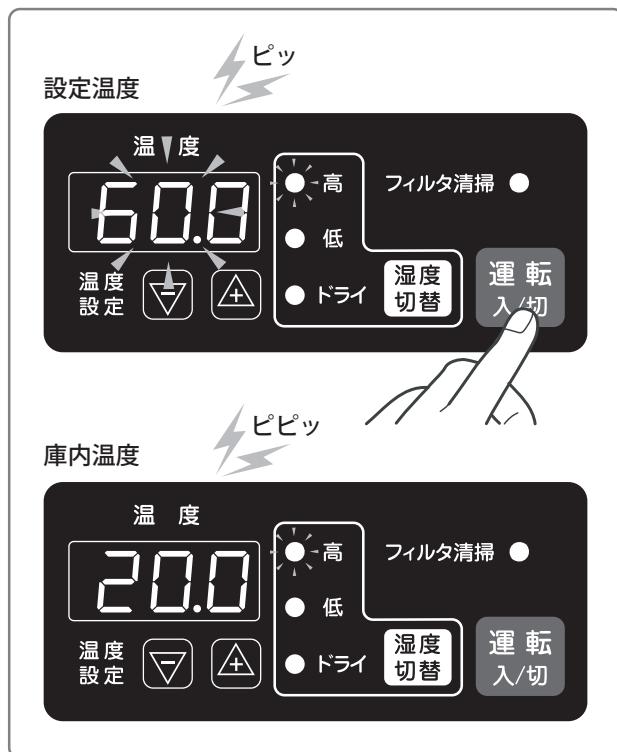
「湿度切替ボタン」を押すと
「高」→「低」→「ドライ」→「高」・・・の順番に
ランプが切替わります。



4 「運転ボタン」を押す

- 表示部に設定温度を3秒間点滅表示したのち、現在の庫内温度が表示されます。

注意 この時点で加温が開始されます。



5 設定温度をセットする

- 出荷時の設定温度は 60°C です。

「温度設定ボタン」▼▲のいずれかを押す

- “ピッ”と音が鳴り、現在の設定温度が点滅表示されます。

設定温度が点滅表示されている間に、「温度設定ボタン」で希望の設定温度にセットする

設定温度範囲

- 高温 … 30.0 ~ 90.0°C
- 低温 … 30.0 ~ 99.9°C
- ドライ … 30.0 ~ 99.9°C

- 操作停止 3 秒後に“ピピッ”と音が鳴り、設定温度が記憶され、現在の温度表示に戻ります。

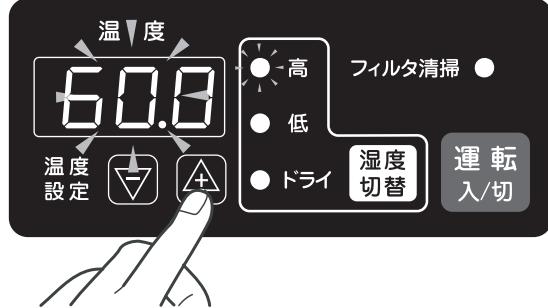
設定温度到達までの目安時間 常温～60°Cまで

- 高温 … 約 30 分
- 低温 … 約 25 分
- ドライ … 約 30 分

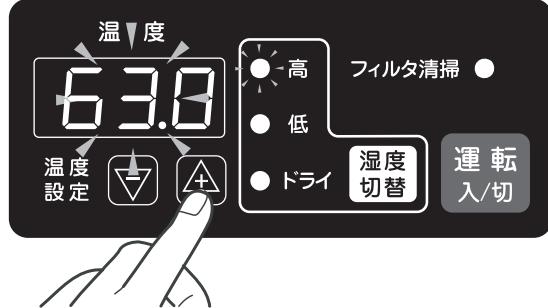
庫内温度



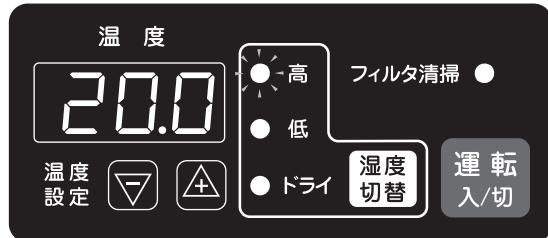
設定温度



設定温度

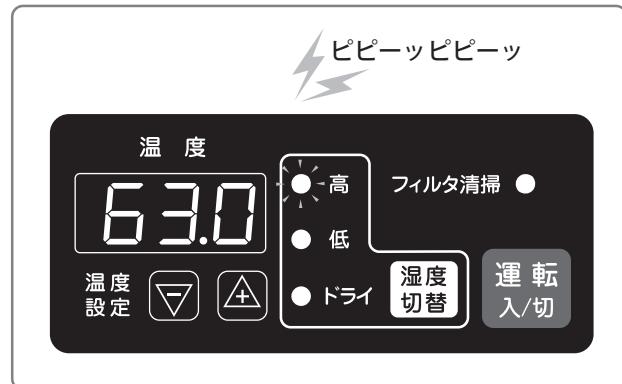


庫内温度



6 設定温度に到達

- 設定温度に到達するとアラームがなります。
- 立ち上げ時、設定温度より少し高くなることがあります、しばらくすると設定温度に落ち着きます。



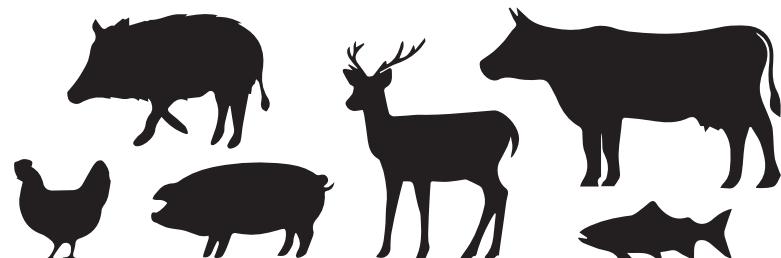
7 食材を投入して調理を開始する

- 調理の目的によって、食材準備の方法が違います。
- 芯温管理が必要な場合は、市販の芯温計で芯温確認しながら調理してください。
- 芯温到達後に一定時間加温する場合は、キッチンタイマー等をあわせて利用してください。

調理例

低温調理

- 素材そのまま
- 真空パック 等 …



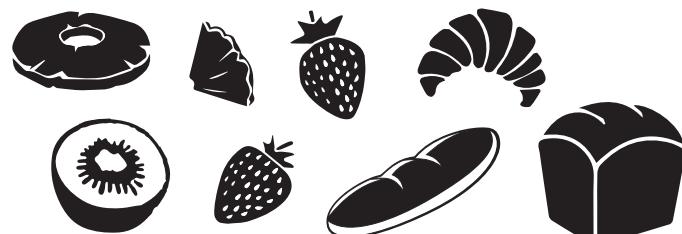
蒸し料理

- 茶碗蒸し
- しゅうまい
- 蒸し野菜 等 …



ドライ

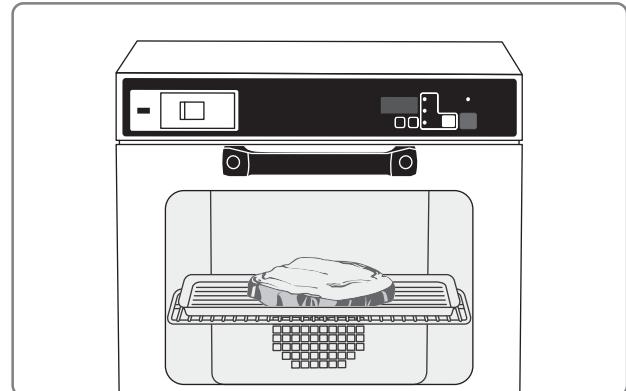
- ドライフルーツ
- パンの発酵(霧吹きで加湿) 等 …



目的の調理にあわせて
温度、湿度、加温時間を組み合わせてご使用ください

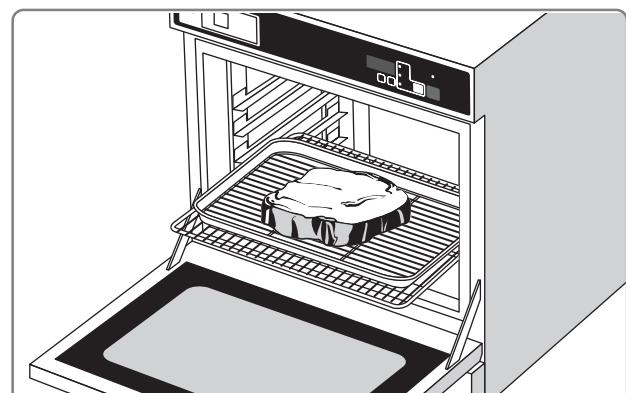
8 調理が完了

- 芯温計、またはキッチンタイマー等を指標に調理を完了してください。



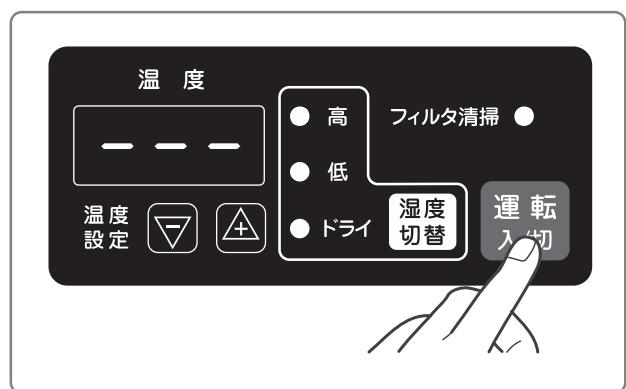
9 食材を取り出す

- 続けて別の食材を調理する場合、設定温度を確認して調理を継続してください。



10 運転を停止する

- 「運転ボタン」を押します。
- 表示部に「---」が点滅表示していることを確認してください。



お手入れ方法

■「安全上のご注意」を必ず守ってください。また、次の手順にそって毎日お手入れを行ってください。

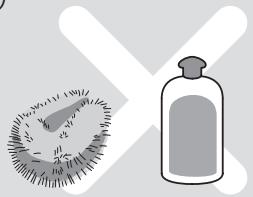
「使用できる」お手入れ用品

- 中性洗剤
- 柔らかい布



「使用してはいけない」お手入れ用品

- 酸性・アルカリ性の洗剤・洗浄剤・漂白剤
(表面の変色・シミの原因)
- クレンザー・みがき粉(粉末、研磨力の強いもの)
(研磨剤によるキズの原因)
- 塩酸・クエン酸、シンナーなど
(表面の変色・シミの原因)
- アルミ付きのスポンジ、メラミン系スポンジ、
ナイロン・金属のたわし
(表面を傷める原因)



毎日のお手入れ

水の入れ替えを毎日行わないと、水に含まれる不純物がタンク内にスケールとして蓄積します。スケールが厚く固まってしまうと除去が難しく、ひどくなると熱の伝わりが悪くなりOHエラーが表示され、運転できない状態になります。

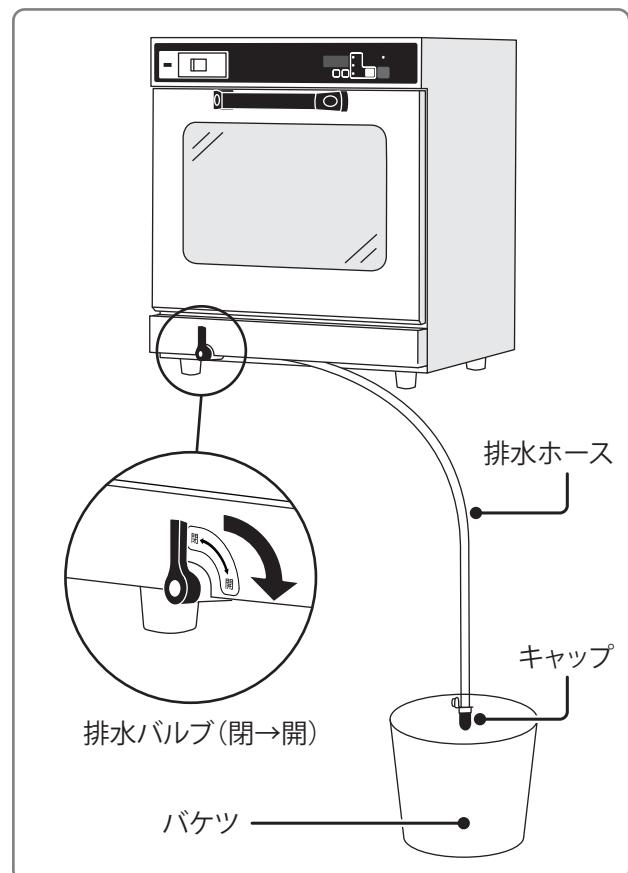
1 電源ブレーカーをオフにして、電源プラグをコンセントから抜く

2 排水する

- ① バケツを用意します。
- ② 排水バルブが「閉」になっているのを確認し、排水ホースの下にバケツをセットします。
- ③ ホース先端のキャップを外し、排水バルブを「開」にして排水します。

注意 排水時、熱湯に十分ご注意ください。

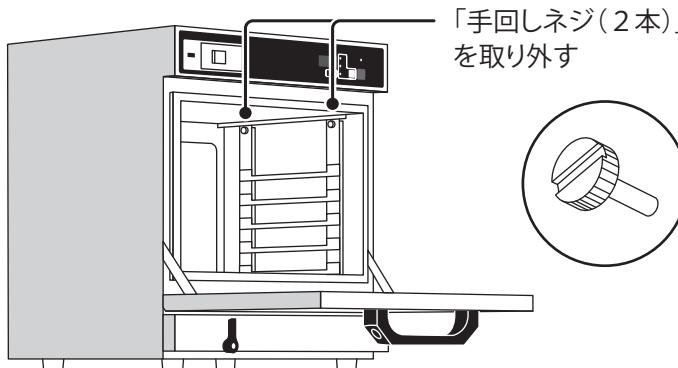
注意 排水後、バルブの締め忘れとキャップの付け忘れにご注意ください。



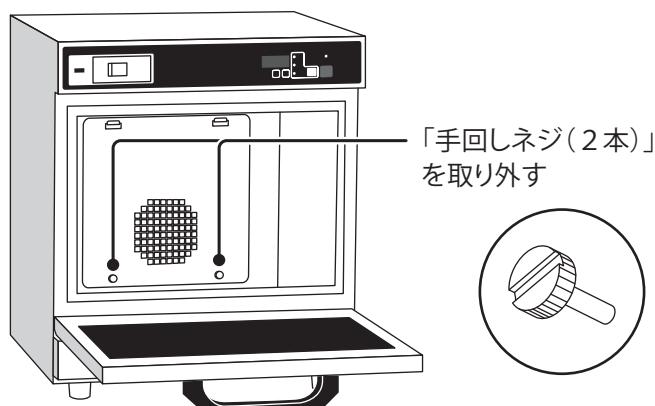
3 部品を取り外す

- ① トレイを取り外します。
- ② 下図にしたがって、トレイレール、整流板を取り外します。

- トレイレール ※左右あります

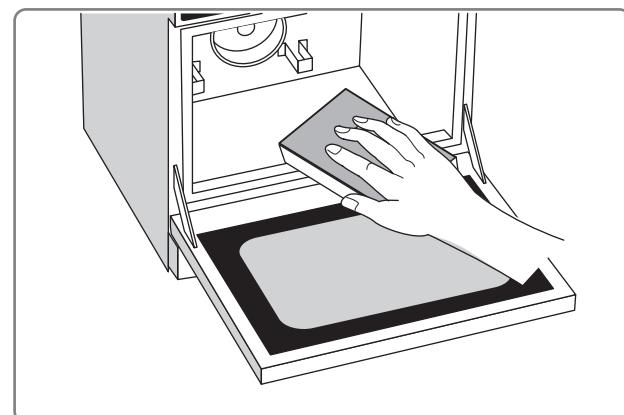


- 整流板



4 中性洗剤・スポンジ等で洗浄する

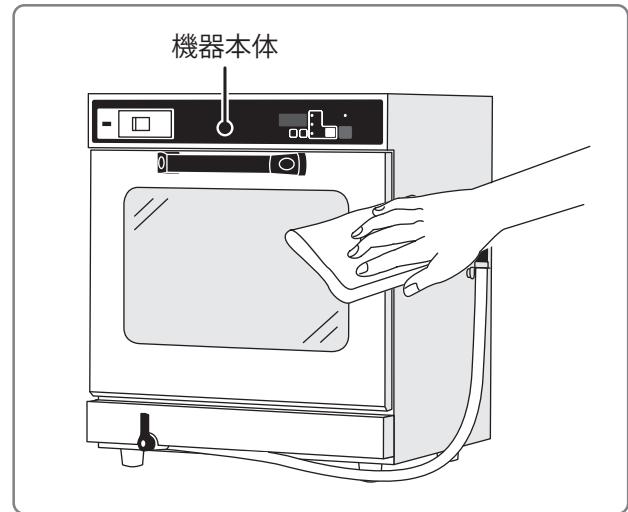
- 取り外した部品を中性洗剤・スポンジ等で洗浄してください。
- 本機内部の底面には、水に含まれる不純物がスケールとして蓄積しますので、特に入念に洗浄してください。
- よくゆすいだ後、乾いた布で水分を十分に拭き取り、乾かしてください。



機器本体の清掃

1 よく絞った柔らかい布で拭き上げる

- 機器内に水が入り込むと故障の原因になります。
- 洗剤は使用しないでください。

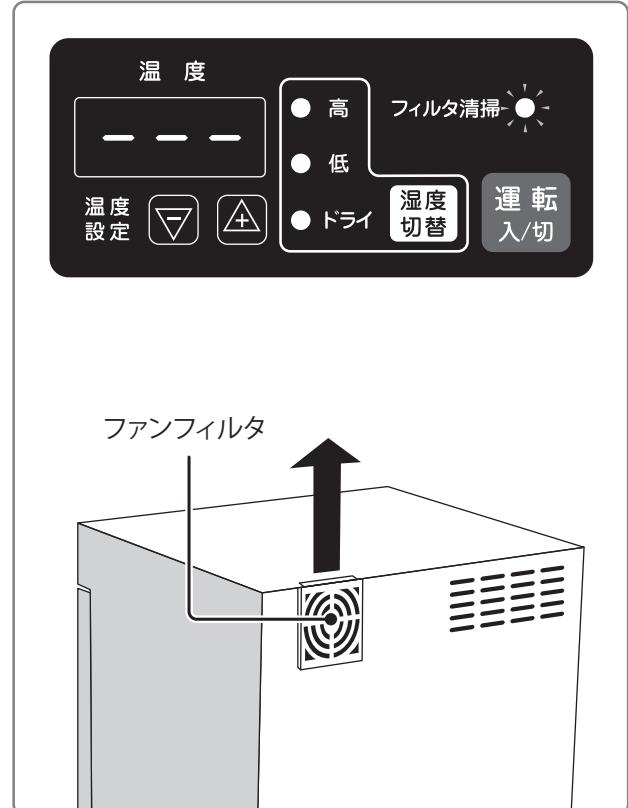


フィルターの清掃

1 「フィルタ清掃」ランプが点灯したときは、背面にあるファンフィルタを清掃する

- 清掃してもランプが消灯しないときは、使用環境温度が35°C以上の可能性があります。

注意 設置場所が35°C以下の環境であってもランプが消灯しないときは、サービス窓口へご連絡ください。



困ったときは

■ 修理を依頼される前に下記の項目をお試しください。
改善されないときは、サービス窓口にお問い合わせください。

症 状	原 因	対処方法	参照ページ
電源ブレーカーを「入」にすると すぐに「切」に戻ってしまう	機器が漏電している可能性があります		
ガラスが割れた	—	電源ブレーカーを「切」にし、 電源プラグをコンセントから抜いたあと、 サービス窓口へご連絡ください	—
異臭や煙がでた	—		
本体が焦げ臭い	—		
電源が入らない	電源プラグがコンセントから 外れている	電源プラグをコンセントに差し込んでください	⇒ 5 ページ
	電源ブレーカーが「切」に なっている	電源ブレーカーを「入」にしてください	⇒ 6 ページ
	電気が供給されていない	設置場所のブレーカーの状態等、電気の供給に 問題がないか確認してください	—
設定温度まで 上がらない	ドアが開いている	ドアを閉めてください	—
	立ち上がり時間が不足している	加温途中です もうしばらくお待ちください	—
	吹きさらしの場所に置いている	外気を遮断するようにしてください	—
照明が点灯しない	LEDランプの寿命、接触不良等	サービス窓口にお問い合わせください	—
電源コードが 破損した	電源スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いた後、 サービス窓口にお問い合わせください		—
水がもれる	本体が大きく傾いている	本体が水平になるように置いてください	⇒ 5 ページ
	給水量が多い	電源を切り、排水ホースから水を「満水位置」 以下まで捨ててください	⇒ 6 ページ
	排水バルブが「開」の位置に なっている	排水バルブを「閉」の位置にしてください	⇒ 6 ページ

■ 製品に異常が生じた場合、エラー表示でお知らせします。

エラー表示	原 因	対処方法	参照ページ
EL *	水が不足しています	扉を開けて、水量を確認してください 不足している場合は、水を追加してください	⇒ 6 ページ
E1	温度センサー 故障		
E2	水温センサー 故障		
E3	電装温度センサー 故障	電源ブレーカーを「切」にし、 電源プラグをコンセントから抜いたあと、 サービス窓口へご連絡ください	—
EF1	庫内ファン 故障		
EF2	電装ファン 故障		
OH	過昇警報		

* 対処方法を確認してもエラー表示が改善されないときは、
電源ブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いたあと、サービス窓口へご連絡ください

製品仕様

品 名	低温調理機
型 式	STC43
外 寸	W430 × D442.4 × H503 (mm)
質 量	27 kg (本体のみ)
定 格	AC100V 50/60Hz 900W
使用環境温度	15～35°C
設定可能温度	高温 30.0～90.0°C
	低温 30.0～99.9°C
	ドライ 30.0～99.9°C
	※ 冷却機能はついていません
電源コードの長さ	2.4 m
材 質	ステンレス鋼板
付 属 品	変換プラグ[1個]

※仕様は、製品の改良のため変更する場合があります。

アフターサービスについて

■修理をされる前に

- まず、「困った時は⇒14ページ」の内容を必ずご確認ください。
- それでも直らないときは、メーカーサービス窓口にご連絡ください。

■製品の保証

- 保証期間中は、製品保証規定に従って無償にて修理いたします。
- 保証期間が過ぎている場合は、有償修理とさせていただきます。
- 補修部品の保有期間は、当該機種製造終了後5年間です。

■修理依頼のしかた

メーカーサービス窓口に下記事項をお伝えください。

- お名前または事業所名
- 型式：STC43
- 製品番号
- 故障内容

メーカーサービス窓口



日本ヒーター機器株式会社

〒143-0016 東京都大田区大森北1-23-1 NETビル2F

顧客サービス課

フリーダイヤル

0120-009-187

FAX
03-3768-8222

(年中無休)

MEMO

MEMO

製品保証規定

品 名	低温調理機
型 式	STC43

1. 保証期間：納品日より1年間
2. 製品が保証期間内に故障した場合、無償修理をいたします。
3. 保証期間中でも次の場合は有償修理となります。
 - 1) 不適当な取り扱いによる故障または損傷の場合
 - 2) 故障の原因が、本製品以外の他の機器による場合
 - 3) 天災地変、異常電圧等による故障、損傷の場合
 - 4) 当社指定のサービスマン以外の方が修理された場合
 - 5) 製品・部品に改造が施されている場合
4. 本規定は日本国内のみ有効です。



日本ヒーター機器株式会社

〒143-0016 東京都大田区大森北1-23-1 NETビル 2F